

# 資料2-1

別紙1

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 5 年 1 月 日

協議会名: 稚内市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
稚内市	<p>運行系統名:天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシー</p> <p>運行区間:天北地区、恵北・増幌地区各戸～稚内駅前ターミナル</p> <p>運行回数:10回/日</p> <p>運賃:200円～700円</p> <p>【車両減価償却費等国庫補助】</p>	<p>近年、R2の路線再編や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、利用者数の自然的な増減を検証できていなかったことから、R4については、前年度(R3)から路線・ダイヤともに変更せずに運行した。また、運行を継続しながら、協議会等において地域住民へ現状を報告するとともに、今後も公共交通として維持していくための安定した利用者の確保に向けた検討・協議への協力を要請した。</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標平均利用者数630人/月に対して平均673人/月となり、目標値を上回ることができた。</li> <li>・目標収支率10.0%以上に対して収支率9.13%という結果となり、目標値を下回った。</li> <li>・通学・通院・通勤で利用する方が多数を占めており、地域住民の生活を支える交通インフラの役割を担っている。</li> </ul>	<p>本事業を持続させるためには、利用者の安定確保が最も重要であることから、新たな利用者確保しつつ、既に利用している方の利用頻度が増えるよう、現在の利便性を維持・向上しつつ地域及び関係者と連携・協力しながら、より利用しやすい運行形態の構築に向けて検討を進めていく。</p>